



天 界 新 知 識

新知識各項に附けた番號は便宜上のもので分類に關係はない。各人の分類整理に應用されたい。

573

北極星の色温度の變動

獨國ゲチンゲン大學天文臺 M. Schwarzschild 氏は、カシオペア座 β 星を比較星として北極星のスペクトル及び格子寫眞を撮り、其の色温度の變動する状態を研究した。それによると、

色温度が極大となる位相..... 0.460 ± 0.037^P
 色温度が極大の時期.....J. D. 2427661.35 ± 0.15
 色變動の振幅..... $\Delta F = 0.101 \pm 0.020^m$
 色傾斜の振幅..... $\Delta G = 0.127 \pm 0.026$

又、極大光度の時期.....J. D. 2427661.22 ± 0.14

参考のため、極大光度の時期 (Florya. より)...J. D. 2427661.12 [AN. 6135]

“ 極大光度の時期 (E.J.Meyer より)...J. D. 2427661.35 [AN. 6144]

波長 460μ での振幅..... $\Delta M = 0.136 \pm 0.026^m$

又、眼視光度 (550μ) による電光の振幅..... $\Delta m_{vis} = 0.091^m$

寫眞光度 (432μ) による變光の振幅..... $\Delta m_{ph} = 0.151$

色指數の振幅..... $\Delta FI = 0.063$

故に $\Delta FI / \Delta m_{vis} = 0.69$

因みに Güssow 氏によればセファイ式變星の平均は $\Delta FI / \Delta m_{vis} = 0.73$ である。[Gött. Veröff. 46]

574

新しい遊星の命名

ベルリンの計算局より發行される R. I. 誌第 1476 及 1487 (去10月31日及11月14日附) によれば下の如く新小遊星がハイデルベルヒ天文臺の K. Reinmuth 氏によつて命名された。

第1227番の小遊星	年次の假名	1931 TD	新名 “Geranium”
1228	“	1931 TU	“Scabiosa”
1231	“	1931 TE ₂	“Auricula”
1232	“	1931 '1 F ₂	“Cortusa”
1233	“	1931 TG ₂	“Kobresia”
1376	“	1935 UH	“Michelle”

但し (1376) のは G. Reiss 氏の命名である。